

第25回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2019年6月15日(土) 10:00~12:00
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長, 大永委員, 春木委員, 三浦委員, 大田委員, 木寺委員
市より	:森田部長, 藪田課長, 尾川係長(司会進行), 林課員
傍聴者	:4名

○市 それでは、定刻になりましたので、第25回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきます。きょうの司会は環境施設課の尾川でお願いします。

まず、資料の確認ですけれども、第25回ゴミパイプライン協議会の次第。それと配付資料としまして、資料1、いつものトラブル等の対応ということですね。それと資料2、輸送管補修工事の予定。資料3、パイプライン施設及びごみに関するアンケート結果報告書と提案。資料4、朝の定時運転の変更案についてということで、過不足ある方、いらっしゃいますでしょうか。

それでは次第に沿いまして、始めさせていただきます。まず議題1ですね。パイプライン運転報告について、資料1ということで、環境施設課の林から説明させていただきます。

○市 おはようございます。芦屋市の林です。

資料1といたしまして、パイプライン運転警告について、前回の報告以降、4月16日から6月10日までの記録を報告させていただきます。

これに関しまして、前回、御指摘がありましたとおり、幾つか項目をふやしております。ふやした項目といたしましては、ちょうど真ん中のところ、レベルというところに関しまして、トラブルの具合ですかね、A、B、C、それぞれ表現をしてほしいという御依頼がありましたので、Aに関しましては、現場に行かずにモニターで操作し故障解除して復旧。Bに関しましては、現場に行って作業をしたときの復旧。今回の報告にはないんですけれども、Cに関しましては、2日以上かかった作業について記載をしております。

そのほかに関しましては、右のほうに外部費用、維持管理以外でかかった費用が幾らかかったかというところを表現してほしいということで記載をしております。今回は、そういった費用は発生しておりません。また、その横、住民起因、そのトラブルが住民起因で起きたのかどうかというのを記載してほしいということがございましたので、項目をふやしております。

それでは、こちらの運転報告について、説明させていただきます。表面がシステム異常発報、裏面のほうが利用者からの連絡対応、その下が巡回及び定期点検で発見された不具合等について、記載させていただいております。

こちらに関しましては、表面のほうのシステム異常発報から説明させていただきます。全体の件数に関しましては、一番下のところ、小さく星印で記載していきまして、過去2年間を比較して書いております。平成29年度は26件、平成30年度が59件、令和元年度が22件となっております。昨年度はトラブルが多くて、今年度は2年前と同じぐらいのトラブル数となっております。昨年度は輸送管がとまったりして、それが影響していると考えられます。

それでは、幾つか、同じ投入口で発生したトラブルについて説明させていただきます。一番左手のナンバーで言いますと、3番、10番、11番に関しましては、ローカルの緑町11011で発生したトラブルになります。こちらに関しましては、全て現場に行っておるんですけども、特段システムの異常というよりは、弁にごみがかみ込んだ。どういったごみかと言うと、プラスチック等の形があるものが弁にかみ込んだときのトラブルになります。それを現場に行き行って除去して復旧させております。

ナンバー12に関しましては、現場に行っただけですけども、ごみがなくなっていて、自然解消だと思われまます。

そのほかに関しましては、ナンバー12番、ナンバー15番。これは、潮見町の12031で発生したものになります。こちらに関しましても、排出弁の閉異常で、1回目はモニターで確認し、2回目に現場に行き行って対応して、それ以降は発生しておりません。

続きまして、裏面をごらんください。今回、利用者からの連絡対応に関しまして、多かったのが誤投入ですね。誤投入があったのは3件。2カ月間で3件ですので、大体1カ月に1件以上のペースで発生しております。

ナンバーで言いますと、9番、12番、19番です。7番も誤投入と電話があったんですけども、電話があった5分後に、やっぱり家にありましたという連絡がありました

ので、記載はしているんですけども、それはカウントはしていません。車の鍵、はがき、自転車の鍵と、はがきは多分、恐らく間違えて、ごみ袋に入れたものだと考えられます。車の鍵も、自転車の鍵もよくごみを捨てるときに間違えて、手に持っていたものを入れた可能性があります。

そうですね、あと、住民起因に関しましては、ナンバー17番ですね。緑町11149、これ、バケット内にいっぱい詰め込んだ後、閉めたので、バケットが開閉できなくなって、そのとき、すぐ電話をいただいたので、バケット内に洗剤の箱とかをそのまま入れたらしくて、現場に行って、それを除去して、復旧しております。

件数に関しましては、平成29年度が7件、平成30年度は14件、令和元年度は19件になっております。これについては、ちょっと例年よりもふえている傾向になります。

続きまして、一番下の、巡回及び定期点検等で発見された不具合について、ナンバー3番、ナンバー4番の件で、維持管理の方が水中ボンド等で輸送管を補修したところがありましたので、補修状況等を前のスクリーンで説明させていただきます。

ナンバー3番、これは、浜風町の専用溝、ちょうど、環境処理センターを出た道路の下にある専用溝ですけども、場所で言いますと、こちらのほうですね。壁に入っていくところ、溶接部が小さく筋のように穴があいていましたので、補修をしております。また、こちらが下のほうのところも、溶接点のところにピンホールができておりましたので、全体的に補修をしております。

ナンバー4番、潮見町と若葉町ですね。共同溝、宮川大橋の若葉町側のところですけども、小さい穴があいておりましたので、ゴム板とテープで補修をしております。

また、下の部分、潮見町のところ、12103ですね。下のピット内に、赤丸のところ、ちょっとわかりにくいですけども、穴あきがありましたので、水中ボンドで補修しております。こういった形で維持管理でも補修できる場所に関しましては、水中ボンド等で補修しております。

パイプライン運転報告については以上です。

○市 ありがとうございます。これに関しまして何かあるでしょうか。はい、大田さんお願いします。

○利用者の会 利用者の会の大田です。

別紙写真1、再度あけていただけますか。これ上の部分ですけども、穴あきというより、何か亀裂のような感じがするんですけども、この辺のところ、判断としてはど

うなんですか。

○市 そうですね、亀裂というか、よく穴があくところに関しましては、溶接した箇所が弱くなっている部分で、その溶接点からこう筋のように穴あきが発生したものだと思います。

○利用者の会 さびとかその辺いうこともあるわけ。

○利用者の会 さびの進行とか。

○市 溶接箇所が影響あるのかなという判断はしております。カメラ調査等も、外部から見るときは、溶接箇所をまず見て、そこが多分、一番弱い部分だと思っております。

○利用者の会 宮川大橋の共同溝の部分ですけれども、これは下側ですね。

○市 下側です、はい。ちょうどおりてくるところです。

○利用者の会 いや、そうじゃなくて。川の下側。

○市 川の下側です。

○利用者の会 摩耗と思うねんけど、もっとほかのところ、たたいてちょっとさわらないと、ぼこっとあく可能性はあるんじゃないかなと思いますけど。坂になっているところが全て崩れたら。1カ所出てきたけれども、これから始まるというか、そんな気がするのです。

○市 そうですね、共同溝に関しましては、昨年度も鉄板で溶接をしている部分もありますので、今後そういったものもふえていくかと思っております。それは維持管理が点検等で見つけ次第、随時補修をしていっております。

○利用者の会 幾つかあるんですけれども、1番目ですね、巡回及び定期点検のナンバー1。これは、以前から問題になっていまして、水が、あそこの排水溝、投入口の横からばあっといつも出ていて、みんなで何やろうと言って、今回、きちっと長いホースでつないでいただけまして、管理組合の人も感謝しますということで、ちゃんと載っていましたね。ご報告、ありがとうございました。

最初のページですね。前回もあったんですけれども、同じところで同じ問題が起きているというのをぱっと見たら、12031、これは3回起きてるんですよ。前回の話でも、同じところで問題が連続して発生する場合、やっぱりこれは手を打たなあかんということで、今回どんな手を打たれたか、ちょっと確認したいというのが1つ。

それから、次のページの誤投入。誤投入は僕も多いなと思ったんですけれども、もう誤投入のときはサポートしないでということをやっぱりこの場で今後決めていかなき

やいかんかなど。確かにサービスレベルは落ちるんですけども、穴の中に入って、ごみを1個1個あけて探すというのは費用的にも、それから作業員の健康面でも、やっぱり余りすべきことじゃないかなという気がします。ただ、急にやめると、いろいろ問題もあるでしょうから、期間を経て、誤投入に関してはやらないということ、今後の提案として検討すべきだと思います。

なぜ、そう思ったかと言うと、誤投入しても市がサポートすると、永遠にユーザーは電話をかけるんですよ。甘えるんです。ですから、あえて入れるときに、注意をしようという気持ちなんてさらさらないわけです。しなくても間違えたら、市に電話かければ何とかしてくれるだろう。だから、これ、非常に今、問題になっていまして、行政がサービスレベルを上げれば上げるほど、利用者はそれに甘えて問題を起こすというのがあるわけですね。これ、イギリスで問題になりまして、絶対に問題が起きない交差点というのをつくったわけです。これは何でかと言うと、余りにも事故が多くて、利用者からもう何とかしてくれということで、イギリスの自治体は頑張ったんですけども、完璧にしたつもりが、今度は利用者はそれに甘えて、もう全く注意しないで、そこを歩いてしまうと。そうすると、今まで以上に交通事故がふえたとか。

それから、仙台のほうでもスーパー堤防というのがありまして、この堤防は全くどんな地震が来ても水は来ないと。だけれども、今回やられてしまったわけですね。ですから、やはり利用者も注意しなきゃいけない。常識として。そういうことをやはりきちんと伝えるためには、ちょっとこれは今後の課題として、本当に誤投入を続けていくかどうかは検討する課題だと私は思っています。

この2点ですね。同じ問題が起こったときの対処方法と、誤投入の対処方法ということを提案いたします。

○市 1点目のシステム異常発報の件ですけども、今回、3回発生していた部分のところですね。12031。今回、これ3回目で見回りに行って、制御盤等のつけ外し等行っております。以前、いろいろ御指摘あったとおり、維持管理の方にも数回起きるところは必ず現場に行くように言っておりますので。それ以降は、5月10日以降ですね。同じ投入口では起こっておりませんので。対応できているとは考えております。

○利用者の会 これ、ルール化してほしいです。

○市 ちょっと補足ですけども。12031、これに関しましては、ナンバー6、これは吸気弁のほうで故障があって、中央制御室で解除ができました。ナンバー12、12031、こ

れは排出弁で故障の箇所が違う。同じ投入口ですけれども。故障した機器が違っております。これも回復ができて、ただ2回目、ナンバー15、5月10日ですね。ここに起きたときは、現場に行って、制御盤内の機器基板等の点検を復旧という形でやって、その後、起きてないというような形です。

誤投入に関しましては、今の段階では、電話があったら駆けつけて、ごみをばらして、発見できるかできないか。その後、ごみの片づけをやるような形になっております。

ただ、これは先ほど山口さんがおっしゃったみたいに、もう対応しないというような形で考えていくのなら、またちょっとワーキンググループ等で話をして、すぐには無理だと思うので、周知期間を設けさせてもらって、やっていくような形になると思います。

○利用者の会 有償でもいいのと違うかなと思うけど。

○市 それもワーキンググループで話し合っていきましょう。

○市 大阪が確かそんな形でしたよね。

○市 そうですね、南港に関しましては有償。市が関わらないで、業者に直接電話して、交渉というのか。

○利用者の会 そういうことも請負という形で、そういう形でもいいよ。それはまた。

○利用者の会 先ほど尾川さんから、これに話があった件ですけれども。確かに機器は違うと思うんです。だけど、40年経って、いいタイミングで1個おかしくなったら、ほかも当然似るということが僕は普通だと思うんですけれども。ですから、当然その投入口が、いろんな部分が悪くなりますんで、いいタイミングなので、ほかも定期点検してきちっと見ていくというような作業もしてほしいなと思います。

○利用者の会 どうも御苦労さまです。春木です。

いつも定例のトラブル報告見せてもらおうと、頭いっぱいになってしまうんで、あれになるんやけど。システム異常ですね、これいつも吸気弁、排出弁やと、この辺のトラブルが多いのはいつもなんです。今月はちょっと少ないかなという気もしますけれども。あとは、この例えば、陽光町のほうですね、ドラム。これも割と最近多いん違うんかないう気がするんですね。呑込異常、ブリッジとか。これ毎回出てきてるんやけど、この辺、やっぱり何らかの原因があるん違うかなと思うんですよ。せやから、この辺の原因を推定して、ほんで再発しているようなところには、やっぱりアピールすべきやと思うんですね。何で呑込異常になるんや。何でブリッジになるんや。何で

陽光町だけ起こるんやというね、その辺ね。その辺やっぱり、オペレーターの人が、オペレーターというか、作業されてとるような、日常やってはる人については、推定というか、その辺あるん違うんかな思うてね。やっぱりその辺の何らかのアクションをとってほしいですね。どうしても、ちょっと見ていたら、ちょっといらいらすることがあるんですが。その辺またお願いしたいと思います。

それと、利用者からの連絡対応ですね。この辺、誤投入、私とこの自治会もそうなんですけど、誤投入、今回は高浜町のほうで、場所は違うにしても、誤投入、これ3件出ていますね。この辺、何らかの対応をしたかということがちょっと気になりますね。この辺同じ町内で、組織が違うかもわからんけど、発生したら、何らかのアクションで、こんなありましたよ言うてね、やっぱりわいわい騒いでほしいですね。せやから、それぞれの組織のところでアピールするなり注意して、ハンドブックでも、それらにも載せられているとは思うんですけどもね、ホームページにも。その辺はやっぱり何らかのアクションをとってほしいですね。

それと、コインマスター。最近、ちょこちょこコインマスター取りかえていただいているんですが、この辺、取りかえた、その辺の一覧表みたいなもの、つけられていますかね。投入口はいっぱいあるんやけど。例えば芦屋浜なんかは、もう40年、何年経ってるの。40年は経ってますね。やっぱり、その辺の取りかえた一覧表みたいなものつけて、まだ取りかえてないところもあるかどうか知りませんが、やっぱり使用頻度にもよると思うんですけど、その辺も含めてお願いしたいなど。それぞれ点検表、月次の点検表か何か知りませんが、順番にそれぞれ点検されたときに、例えば、ちょっと持って行って、周りがちょっと引っかけがないとかかね。その辺も、まだ取りかえていない部分については、ぜひお願いしたいと思います。

それと、例えばこの17番、バケット内に大型に洗剤箱があった。詰まらせていたということですが、この辺、バケットにそういうものが入っていたときに、何かそれ、現物を保管、そこに置いてたとか、何らかのアクションとられたんですかね。その組織のところへ、詰まったで言うて、こんな箱、入れんといてなとか言って、やはり、その辺がやっぱり。ここに毎月載せてもらうのはいいんですけど、やっぱり何らかのアクションとっていかないと直らないと思うんですね。せやからできる限り、そういうことで、そこへお願いしたいですね。それがしいては、作業員の方なんかもちよっとほっとするんじゃないかなと、ちゃんとアクションしたでというね。今後とも一緒

になってやってほしいので、皆さんで。できる限りアクションを。その辺よろしくお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○利用者の会 レベルのABC、これの説明を下の欄でちょっと入れていただけたら。

○市 そうですね、次回から。2枚目の裏とか、どこかに入れます。

○利用者の会 済みません、よろしく。

○傍聴者 潮見町の野村です。

1つは異常の潮見町の15番ですけれども。現場確認して、そのときに基板は交換してるんですか。何か機器点検して、基板を入れた、差し込みをやり直したぐらいで交換したんか。どうしたということかわからないんですけど。

○市 交換はしてないです。

○傍聴者 交換はしてないわけやね。それは何か挿して入れ直したら、それで正常になった。だから接触不良ってこういう感じなんですか、そこは。それだけ、もし接触不良であれば接触不良だったということだけは、きっちり何か記入いただいて、この問題は恐らく、同じところでは、接触不良が1カ所起きていたら、またほかのところでも起きる可能性があるわけですから、それをオペレーターというか、修理に行った人がわかっていたら、次のときに、申し送りのときのことなんかがあるんで、文書化して残しておかれたほうがいいんじゃないかなと思うのが1つと。

それからもう一つ、誤投入に関してなんですけれども、誤投入、3年ぐらいで、何かシリアスなものが入った経験があるんかどうか。シリアスなものというのは、例えば、金塊を捨ててもうたとか、100万円の束を落としたとか、財布を中に入れてもうて、その財布にクレジットカードから全部、免許証から全部入ったとかですね。そういうのが、今、なかったらいいです。これ、グループAでやることになると思うんで。3年ぐらいバックして、どのぐらいあったんか。1個もなかったんか。やっぱり、もうやめやって言うても、めっちゃシリアスな問題のときには対応する必要もあるんかなと思うんで、それはないのかあるのかというのが、それだけちょっと調べていただいたらと思ひます。

○利用者の会 よろしいですか。木寺ですけれども。

この基板点検っていうのはあれでしょう。見て、腐食とか、それから短絡跡とか、そういうのがないのを見てもとに戻したということですよ。

○市 はい、基板ですね。

○利用者の会 外観点検したということですね。ちょっと話変わるんですけども、各投入口に、入れたらもう出てこないからだめよってという注意名板が張ってあると思うんですけども。投入口のところに。

○市 上のほうにですかね。

○利用者の会 上のほうに。それが書いてあるから、もう誤投入やと言ってもね、市のほうは、ここに書いてあるやないのと言うのは言えると思うんですけども。私の近くの投入口見たら、その名板をはがしとる人がおる。質が悪いなと思っているんですけども。一度見て、注意名板がもうはがれとるやつは、つけておいたほうがいいと思います。何か、何箇所か意図的にはがしてあるみたいなどころがありました。私は言われたときに、あそこに書いてあるんだから誤投入したらだめだよって、市に言っても、それは好意でやってくれてるんだから、だめだよって言おうと思ったら、ない場所が出てきたんで、あららと思っているんですけど。それ、お願いします。特にないのは、緑3の私の近くのところで。

○利用者の会 使っていないところからとってるはず。

○市 ちょっと確認します。

それでは議題2、本年度の輸送管の補修工事の予定ということで、資料2になります。林から説明します。

○市 議題2といたしまして、今年度の輸送管補修工事の予定を報告させていただきます。資料はこちらのカラーのものをごらんください。前のスクリーンにも表示させていただいております。

今回、この芦屋浜の平面図で示している黄色の部分に関しましては、輸送管の内貼補修を示しております。交換ではなくて、内部からの補修を行います。緑の部分に関しましては、輸送管の交換を予定しております。今年度、緑の部分ですね、輸送管の交換に関しましては、昨日、入札が終わりましたので、施工業者が決まりまして、まだ今、契約手続中です。恐らく秋ごろに現場で工事を行う予定になると思います。

まず、黄色の部分ですね、工事期間等がそれぞれ示しております。緑町から進めていまして、一番、緑町、左側、工事箇所その1が6月12日から6月14日。その下、潮見町の工事箇所その2が6月12日から14日。これに関しましては、昨日、補修は完了しております。

続きまして、来週からですけども、右手のほう、工事箇所その3、工事箇所その4、

それぞれ同じ期間で、6月17日から18日、それぞれ内貼補修を行う予定にしております。

その次、工事箇所その5が6月20日から28日までの内貼補修を行います。工事箇所その6、その上ですね、ラ・ヴェールの前の道ですが、2箇所同時作業なので、工事期間が7月1日から7月11日まで。最後、新浜町の上の部分、ラ・ヴェールの北側のT字路をちょっとおりたところですけども、7月16日から7月19日で、内貼補修を行う予定にしております。

ナンバー5から施工しようとしていたんですけども、点検口から遠かったため、一部、掘削をして、輸送管を開放、開口、あけまして、内貼補修を行う予定でしたが、輸送管内にごみが堆積しておりまして、すぐには手をつけられなかったため、洗浄を先にするため、今、この工事場所に関しては、掘削状態で置かせてもらっている状態です。その内部のごみを除去でき次第、再度、作業を行う予定にしております。

それで、ナンバー5とナンバー6に関しては、点検口や投入口から補修箇所が遠かったため、それぞれ掘削をして、輸送管を開放して、そこから作業をする予定にしております。特にこの2カ所に関しましては、各自治会さんに、今、御案内を配らせていただいております。

黄色の部分に関しては、昨年度のカメラ調査で発見された部分になりますので、できるだけ早く補修していきたいと思っております。予定の日程になりますので、変わる可能性は十分にありますので、できるだけ早く作業を進めたいと思っております。

今年度の輸送管の補修工事予定に関しては以上になります。

○市 よろしいでしょうか。

○利用者の会 どうも御苦労さまです。春木です。

これ、5月のときやったか、ワーキングAでざっと並べて、平成30年度で点検した結果ということで、ずっと出して、優先度ランク、ほんで、現状どうなっている。グレーゾーンはこうなって、一覧表ありましたよね。ほんで、あの一覧表とこれとの関連がちょっとわからんから、判断というか、しにくいんやけど。例えば、優先度ランクAいうて、ランクつけてあったやつが2件くらいあったと思うんですけどね。それは、この工事期間未定というやつがそれですかね。

○市 はい、そうです。

○利用者の会 それやね。優先度ランクA言うてたやつが、これ未定になってるんやね。

- 市 1番、2番の緑の部分になります。はい、そうです。
- 利用者の会 緑やね。しかも、ランクAのやつが未定ということやね。
- 市 はい、そうです。
- 利用者の会 せやけど、ランクAで未定やけど、一応、仮補修はできているということやね。
- 市 そうですね。仮補修は昨年度行っております。
- 利用者の会 仮補修はできてるということやね。
- 市 はい。
- 利用者の会 せやから、未定でも判断としては、今年度の豪雨いうか、そのときには大丈夫やろうという判断かな。
- 市 そうです。Aなので特に輸送管を変えたいという部分です。
- 利用者の会 うん。そういうことやね。せやから、仮補修はできてるから。まあまあええやろうという判断やね。ここがまだ未定になってるということは。
- 市 そうですね、はい。
- 利用者の会 その辺のね、ワーキングでやったあの一覧用との関連がわからんから、ちょっと聞かされても、なかなかちょっと判断できんかったんやけど。ほんで、カメラ調査で、たしかランクBで未補修というのあったね、何もしてない。それは皆、この中に入っているということでええんかな。
- 市 そうです。Bがこの黄色の部分です。
- 利用者の会 黄色の部分やね。
- 市 はい。
- 利用者の会 せやから、何もしてない、未補修も応急処置も何もしてない部分については、この中に全て入っているということでええんかな。
- 市 はい、そうです。
- 市 前回の輸送管の現状について、ここの補修予定時期、補修状況ということで、この令和元年交換工事、令和元年内貼補修工事という形で、ここに全部列記されています。
- 利用者の会 うん。されてる、この分やね。
- 市 この2件が、この緑の2件。
- 利用者の会 その2件が緑ね。
- 市 ほんで、黄色の7件が、この7件なんです。あと未定というのが、またあと判定C

ですね、優先度Cがまだ残っている。

○利用者の会 Cがまだ残っている。せやから、そういうことやね。

○市 それとはリンクしています。

○利用者の会 せやから、優先順位Aのランク、これ、急がないかんということやけど、一応、仮補修もしてるから、それについては、今年度は安心という判断をしているんですね。

○市 そうですね。ただ、これは交換になりますので、入札して契約してということで、どうしても、この時期になってしまいます。

○利用者の会 いやいや、まあ。その流れはわかってるんやけど。一応、仮補修済んでると。

○市 それは、現状で水中ボンド仮補修、耐摩耗鋼仮補修という形で、平成30年7月と平成30年10月にやっております。

○利用者の会 終わってる。せやから、その辺はええということやね。いや、その辺がちょっと、関係がね、ちょっと判断しにくかったら。せやから、とりあえず、平成30年度の点検含めて、今、発見できとる部分については、遅いところやったら7月やけど、何とか間に合わせようと頑張っていますということになって、そういうことですね。

○市 そうですね、はい。

○利用者の会 わかりました。

○市 それでは議題3ですね、パイプライン施設及びごみに関するアンケート結果報告書と提案ということで、資料3、山口さんから説明していただきます。

○利用者の会 はい。利用者の会の山口です。

アンケートをことし最初に実施しましたので、それに関する報告というのをまとめております。これは前回の利用者の会では既に説明した部分で、私たちのホームページにもこの内容はそのまま、PDFで載っています。

1枚目めくっていただいて、3ページですけれども、目的は、このパイプライン施設に関して、皆さんは、どんなふうな考えを持っておられるかを聞いて、それが利用者の会及びこの協議会で反映できたら、提言をおこなう。単なるアンケートしましたよじゃなくて、提言まで持っていきたいなと思っています。と同時にこのアンケートを書いてもらうことによって、その方の啓蒙の意識を上げるという、この2つの論点で実施をして、1月24日から3月21日までやりました。アンケートは各住居に私たちが

直接配ったり、または各組織、自治会、管理組合通して配っていただきました。配った枚数が6,713枚。回収が1,335枚、回収率2割というふうになっております。

ちょっと、これとは外れるんですけども、いかに早くこれを分析できるかというのをエクセルでつくりましたので、市がもし今後、それを今後のアンケートをされるなら、これをお渡ししますんで。そうすると、結構早く分析ができるかと思います。手で入力するとあれですので、全部EXCEL形式で、皆さんの意見を集約できるというものです。

じゃあ、次のページ、4ページから。今回、時間の問題もあって、これ、全部説明すると長くなりますので、今、提案ということで、提案をまず2つに分けて、長期的な視点からの提案ということで、今後、パイプライン及びごみに関しては、長期的な視点というものを入れる必要があるんじゃないか。

例えば、今、政府は、在宅医療というのを進めていますので、この在宅医療がどんどん入ってくると、そのごみをパイプラインの中に捨てる可能性があるわけですね。そうすると、中に入って、それをいろんなこと、補修するとき問題ないだろうかという問題が出てきますんで、この医療系ごみの増加が考えられる。

そして、もう現にあらわれてはいますが、2番ですけども、認知症の方がふえるということが、もう既に始まっていますので、この方が、私たちが考えることとは全く違った発想でごみを捨てられる。また、放置ごみをされるということが考えられますので、これをどうするのか。

それから外国の移住者の方が少しずつふえています。これも英語圏だけではなくて、いろんな言語を使う方がふえておりますので、これをどうするかという、こういうことの3つを、今後、長期的な視点で対策を講じる必要があると、アンケートをしてわかりました。

それから、この地域、私たちが住んでいるこの地域は、昔は、マンションとか一戸建ては、資産をうまく回して行って、値上がり益というのを得ていたんですけども、最近、バブルがはじけて、デフレになって、終生のすみかということで、移動が物すごく少なくなっていると思われました。それで、今後そういう移動がない状態だと何が起きるかと言うと、空き家問題が起きるわけです。それぞれの住居形態、例えばタウンハウスとか、戸建てとか、高層、中層別に見ていくと、タウンハウスは非常に移動が少ない。逆に言うと、非常に住みやすいところかなという感じがしますけれども。

高層の、特に賃貸は多少の移動がありました。戸建ても結構、人も多く、うまくほかと比べたら行っているなということで、高層、タウンハウスあたりが、今後、空き家問題が浮上してくると。これはごみだけの話ではありませんので、当然、地域の問題とか、市の全般的な行政をうまく使いながら、仕組みづくりが必要ということが、長期的な視点では考えられるということです。

2番目は、今、どうしているのかと。今、何をしなきゃいけないかということで、問題点として、故障の問題、日曜日の問題、赤ランプの問題、こういう3点がありまして、利用者の会としても、自分たちで起こした原因の故障対策はきちっと自分たちで解決して、ゼロ化していくと。今、ホームページに何日間連続してごみが詰まらないかというのを毎日載せています。きょうで51日目です、4月26日から。ですから、これを載せていますんで、これを見れば、何日間、私たちの原因でごみが詰まっていない期間があるかということがよくわかると思います。ただ、これを余り大きく言うと、その途端に、詰まっていることが経験でありますので、余り言えないのもつらいところ。利用者の会として。

それから、豪雨対策をきちっとやっぱり今後とも継続していかなきゃいけないし。今、考えている対策は、できるだけ故障時間を短くするというで考えていますんで、この辺の対策も今後とも継続しなきゃいけない。特に今年もまた同じような台風が来ると思いますので、梅雨は何とかなる。関西はまだ梅雨に入っていないので、何とか逃げ切れるかもしれませんが、今後、これは継続的にやらないかん。

それから、実は毎日ごみを捨てている、習慣化されたものは65%あるんです。ですから、何曜日をとめるというのはなかなか難しいかなということで、サービスレベルと経費削減をうまく織りまぜながら、今後再検討が必要あるということで、ワーキンググループでも、日曜日のごみの問題とか、どうするのかということを検討する必要があります。

それから、ちょっと気になったのが、朝、ごみを通勤時に捨てている方が9%おられたんですね。この方が、ごみが赤ランプだと、通勤の問題もあって、そこにごみを置いていく人がもうほとんどなんです。家に持って帰って、バスをおくらすということはなかなかされませんので、この辺、朝一番に5時半から吸い取ってるとは思うんですけども、これをやっぱりきちっとなくすような、何か対策も考えなきゃいけないかなと思います。

それから、アンケートで、ごみに関する説明会、特に分別に関して必要かと聞いたら、ほとんどの方が必要ないと。ただし、新しく来た方は必要だろうという意見がありました。分別を構わないで捨てる方は、説明会を開いても誰も来ないということで、余りしても意味がないという。ただし、新しく入居される方は、私たちがつくったパンフレット、まだ600ぐらい余ってますんで、これを来た方には、市のほうで例えば配付していただくとか、各自治会で配付していく、そういうことが必要かなと。と同時に、やはり亡くなる方が今後ふえてきますので、その辺の遺品をきちっとこういうふうにしたらどうかという提案も要るかなと。それから外国人へのわかりやすい説明、こういうことも必要だという意見が出ておりました。

あとで御説明しますけれども、ちょっとだけしますけれども、外国語に関しては、Google Chromeというブラウザを入れると、世界中120カ国くらいの言語に瞬時に、全てのホームページを変換してくれるわけです。ただし、PDFは残念ながらそうはいきませんので、Google Chromeを導入された方は、マルチ言語、120カ国対応で。それを利用したのは、ポケット通訳みたいな、2万9,800円です。盛んに、ソースネクストとか売ってますけど、あれです。Google Chromeの同じもの、データベース使っているわけですので、そういうものも今後ちょっと考えていこうと。必要があるかと思えます。

それからホームページを見てますかという質問をしたんですけれども、残念ながら、25%しか見られていないというのが、私たちのホームページも、市のホームページもそうです。利用者の会のほうがちょっと高かったんで、ちょっとはうれしかったんですけども、余り変わりません、21と25。それで、やはりホームページだけで、載せていくからいいという話にすると、非常に伝わっていないことがよくわかりましたので、今後は、投入口の上の掲示板もありますし、いろんなものがあるので、多角的に取り組む必要があるということでもあります。

それから、提案としては、家庭用ハンドブックが市のほうは、2年に一遍、配られていますけれども、この中で、幾つか、ちょっと改善してほしいというものがあります。例えば、神戸市では既にごみ検索システムとういうのが、ワケトン分別徹底サイトとういうのが実はありまして、そこに「キーワード」とか「あいうえお」を入れると、そのごみはこういうふうに分けてくださいという指示が出てくるようなシステムがあります。これは、私たち、利用者の会で作っております、つくりました。今、あるサーバー

に上げて、パスワードを入れると見られるようにしてまして、中身に関しては550ぐらいのごみに関して、どうするこうする、パイプラインに捨てられるとかいうのを、一応、たたき台はつくって、今、藪田課長のほうに上げて、チェックお願いしています。外枠はもうつくりましたので、中の中身のチェックをしていただいて、問題なければ。何かでこれをオープンにしたいと考えておりますね。こういうものですね。

実は、もう一つ、システムがありまして、大阪市とか尼崎がつくっている、つくっているとか利用しているシステムが“さんあ〜る”というシステムがあります。これは年間、導入が5万円で月1万2,000円要るんですけども、携帯電話やスマートフォン用のシステムで、収集カレンダーとか、収集日やらとか、ごみ分別帳、ごみ出し便利帳、これは大阪のホームページなんですけれども、そういうものを市が利用して、スマート化してるというのが既にありますので、こういうものを少し考える必要があるかと思います。

それから、容器に残っている中身の処分方法が、スプレー缶が中心なんですけれども、これも、家庭用ハンドブックを見ると、意外と簡単に書いてあります。宝塚市の家庭用ハンドブックを見ると、A4、1枚にぼんと大きな絵で描いてあるんです。おじいちゃん、おばあちゃんが見てもわかるようになっておりますので、その辺をやはり文章というものはなかなか読まない。私みたいに、興味がある人間は、丁寧に読むんですけども、困ったときに読むのが普通だと思いますね。困ったときも、じゃあ、どこのページを見たらいいんやということで大変なんです。ですから、その辺をうまく、ことし出ると聞いてますので、家庭用ハンドブックは、他都市の状況を分析しながら、よりよいものをつくってほしいなど。確かに前回のものよりは今回の出されたほうが見やすいですけども、もっともっと工夫する余地はあるんじゃないかということがあります。

それから3番目は、かなりこれはアンケートで意見が出ていたんですけども、もうごみを下まで、特に高層なんですけれども、持っていくことができないと、大型ごみは。例えば、要らなくなったものを下まで持っていけない。300円のシールを貼って、収集する場所があるんですけども、そこまでもう持っていけないという、切なる相談がありまして、私もシルバー人材センターに相談しにいきました。そしたら1時間1,500円でやるよという話がありまして、1時間を十分使えるんで、ほかも一緒にしたらいいんじゃないですかということで、その辺の、これは各自治会、管理組合の数も大き

なウエイトを占めると思うんですけれども、その辺の大型ごみをどうするかという仕組みづくりが要るかなと思います。

それから、さっきも言いましたように、Google Chromeというのを入れると、マルチ言語対応になっていますので、その辺で外国の方がもしもおられたら、その方にパソコンがあるかどうかはわかりませんので、例えば、市のほうでとか、管理組合、自治会で、毎年言語化して、その人の希望のものを印刷して渡す、こういうことはもうできるといいますので、そのことも必要かなと思います。

それから分別に関しては、アンケートでは、私は十分に知ってるし、やっていると。本当かいなと思いましたがけれども、ほとんどの方がそう書いてありました。ああいうアンケートであなたは分別をやっていますかという質問はよくないなと、つくづく思いました。書く人が相手ですので、俺は分別は余りしてないという人はいません。ただ、若い人が余り興味がないというのはわかりました。やはり仕事とか家事で精いっぱいなので、分別をゆっくり考えると、そんな時間がないわという方がおられたのはちょっと気になりました。

資源化と減量化に関しては、もう買い物袋を持参すると。レジ袋をもらわないという方が非常に多かったです。過剰包装も断わると。ただ、やはり今後とも、これは続けないといけないのは、生ごみを捨てる前に水を切るとか、堆肥化するとか。野菜などは使い切るするとか、食べ残しをしないと、いろいろこの辺の問題があると思います。それでこの間、クローズアップ現代で、プラスチックごみを家の中から全て追放して暮らせるかどうか実験を、ディレクターが実際にやったんですけれども、本当に難しいなと思いました。今は私のほうで、プラスチックごみのデータを、一生懸命つくっている状態です。

それから、集団回収ですけれども、これが非常に大きな今後の課題となります。ただ、集団回収が減っているんです、量は、全国的にも、兵庫県も。これはそれなりに問題がありまして、集団回収が減っている理由は、私も調べましたが、年をとって、なかなか捨てられないとか、若い人が、土日、掃除するんやけれども、出す日がなかなかうまく合わないとか、常設箱を整備してほしいと、いろいろあるんですけれども、利用者の会では、このデータをやっとな皆さん方からいただきまして、集まったところなんです。何枚かちょっと忘れちゃったけど。かなりやはり各組織によって、非常にうまくやっているところとかあります。業者さんからも補助金をもらっている、市からもも

らっているとか、いろんなものもありますし、自治会などは、これ、非常に大きな収入源となりますので、これは、まずは利用者の会で、きちっとまとめて話し合っ、みんなでデータをシェアしてうまいこと、やっていかなきゃいけないと思っております。

それから、この中で、ちょっと手違いがありまして、アンケートを本番では削ったんですね、項目が多いということで。けども、その前に気をきかせて、いっぱいアンケートをしたものを、そのまま自分たちの自治会、管理組合でコピーして、私たちがアンケートをする前にもうやったところがある、二組織あります。その中に、市の減量化の施策を知ってますかという質問があったんですね。それが、ページの21ページに、市の減量化の施策を皆さん知っていますかということで、一番上にあるのがごみハンドブック、収集カレンダー、これはよく知っていますよ。それから、マイバックを利用しています。持ち込みごみの予約制度もよく知っております。この3つはかなり住民の方も徹底している。ですけれども、117のうち66とか多いんですけれども、やはりそれ以外にも非常に大切な項目があるわけですね。例えば、食材や日用品、最後まで使い切るとか、生ごみの水切りとか、この辺、まだまだ浸透していないので、今後、ごみ減量の審議会でも、市のほうでもいかにうまくこの辺を今後は徹底をしていくのかということが問題となるかなと思って、この資料を載せています。

それから利用者から提案が、コメントが450、500ぐらいありましたので、それはこの最後のほうに、まとめて利用者の会の考え方ということで、最初は1個1個答えていたんですけれども、とても大変だったんで、カテゴリー別にして、まとめています。

ちょっと時間がありますので、ちょっとだけ、6ページ。どんな人がここに住んでいるかということで、アンケートをいただいた方の属性といえますか、そういうものを分析したら、男性の方が27%、女性の方が68%（5%は無回答）ということで、ほぼ女性の方が4分の3近くを占めている。これは神戸市のごみのアンケート、芦屋市のごみのアンケートも見ましたけれども、同じような傾向でした。ただし、アンケートを答えた方なんですけれども、やはり年をとって、60代、70代、80代が非常に多くて、若い人が少なかったと。女性のほうがもう少し若い年代が答えているから、男性はどうしても定年退職が遅くなりつつあって、70代、80代。女性の場合は子育てが終わった50代、60代ということになっています。

次のページは、どんな年代かということで、1つ大きなこの地域の問題としては、年

をとったお年寄りが非常に多いということがある。ただ、これ、アンケート書いた人だけの集計なんで、全部がこれを反映しているとは思いませんけれども、ほぼ、お年寄りが非常に多いと、こういうことで、21%を65歳以上が超えたら、超高齢社会というそうなんですけれども、もう、ここは超超超高齢社会になっている状況だと。だから、それに伴って新しい問題ができますよということなんです。

今晚、私たちの管理組合では、お助け会という、お年寄りの方に何ができるかという会があって、今後どうするかいうことでやるんですけれども、手すりをつけたり、滑らないようなスロープをつけたり、いろんなことをハード的にやっているんですけれども、今、リクエスト来ているのは、ドアがあけ閉めできない、マンションの。余りにも力が要るんで、何かすっとあけられるということで、自動ドアのリクエストが来たり、いろんなことが来てます。ですので、その辺の対応もそろそろ真剣に考える時代にこの地域はなっているのかなと思います。

8ページは、世帯何人住んでいるかと言ったら、メーンはやっぱり2人です。夫婦2人住んでいる方が一番多いということで、これ、住居別に見たら、戸建てが結構2人じゃなくて多数の人数が住んでいると。3人以上住んでいる世帯も結構、戸建ての方はほかと比べたら多いなという感じはしました。

それから、次は、何年住んでいますかということで、やっぱり20年以上が非常に多いということで、この地域は他に移動しない地域で、やっぱり住みよいんでしょうね。私はそう思います。だけど、このまま行くと、あと10年後にはどうなるかというのは、目に見えているような気はしております。

次に、ごみを捨てる時、誰が捨てるかと言ったら、大体決まっていまして、妻と夫という方がほとんど。あと、本人という方が10ページに書いてます。これは、ちょっとアンケートで本人というのをに入れてなかったんですね。俺はもう1人しか住んでないんやと。妻でも夫でもない、1人やということで、本人というカテゴリーに入れまして、こういう方が12%。結構ひとりお住まいが多いということもわかりました。

それから、ごみを毎日捨てている方、11ページですけれども、65%の方は毎日捨てているということです。いつ捨てているかということで、午前中が3割。あとは均等に捨てると。出勤時が9%、これが非常に気になりました。

今、テレビとかでは、プラスチックごみの問題と、生ごみとかを捨てる話ですね、その辺が、非常に話題となって、各テレビやってますけど、全部録音して見てるんです

けれども、今、世界でもっともプラスチックごみに対応しているのはサンフランシスコなんです。サンフランシスコはすごいです。その家庭もテレビであったんですけども、1つ最後に言ったのは、やはり利用者のライフスタイルを変えないかんということです。これ非常に難しいんですね。こういうふうに今まで自分が習慣化しているものを変えざるを得ないと。

ニューヨークでいよいよスタートするのがあります、プロジェクトがスタートしまして、洗剤メーカー、P & Gとか、私が昔いた会社とかが10社寄り集まって、今の容器を全部変えようと、こういう容器に変えようということをスタートするんです。その容器を変えて、こういうプラスチックを一切使わなくて、これを運ぶ、家庭に運ぶ、昔の牛乳配達みたいな運ぶ会社を中心として、そういうことをやろうと言って、スタートしているんですけども、最後にP & Gの偉い人が、全て利用者にかかっているとおっしゃっていました。何を言うかと思ったんですけど、やはり最終的には私たちが、自分が今使っている習慣というのを変えていかないと、ごみ問題はなかなか解決しないなとつくづく今思っております。

はい、ごみの捨て方はそういうことです。

次は、このパイプラインの老朽化に関して知っていますかということで、ほとんど、パイプラインに関する満足度はもうすばらしかったですね。非常に満足している、満足しているで、97%。パイプラインに関しては、ほとんどの方は満足している。老朽化の認知もしている。これは日ごろから、私たち、皆さん方の努力で知っているということであるんですけども、問題としては、やはり日曜日にごみが捨てられない、故障が多くて使えないということですので。これは今後、ワーキンググループで、実際のデータ見ながら学んでいく必要があるかと思えます。

次のページ、ホームページが役に立っているかということで見たんですけども、25%しか見ていないということです。

それから、私が気になったのは7番ですね。困っているごみに関する調査をしたわけです。何が一番困っているか。家電。それからパソコン、タブレット、タイヤ、バッテリー。土、砂、薬品、石油塗料、食用油ということで、無回答というのは困っていない方と考えていいと思うんですけども、75%は、ハンドブックに載っているんです、細かいことは。だけど、そこまでなかなか見つけ切らないし、読んでないんで、おろおろして、さあ、どうしようかという状況になってますんで、ちょっとこの辺は

(2) に具体的に困っているというのを僕、全部載せましたので、この辺、ハンドブック、ぜひとも、ちょっとわかりやすく書いていただいたらいいなと思っています。

2番、次のページはごみの分別ですけれども、これは全く問題ないと本人さんがおっしゃっていますので、これはちょっと質問が悪かったなと思います。

ここに、次のページに17に宝塚の実際の家庭用ごみのハンドブックもここに持って、私、チェックしてみたら、これがペットボトルの出し方なんです。ペットボトルの出し方、ほとんど字はなくて、本当に、絵だけでわかるように、こういうことをちゃんと書いてますんで、これは非常にわかりやすいかなということを思いました。これ、こういうハンドブックをつくってみて、よく私もわかるんですけれども、これも言いたい、あれも言いたい、もういっぱい言いたいことがあるんです。そのいっぱい言いたいことを書くと、本当に言いたいことがぼけてしまうんで、僕は、あえて勇気を持って、本当に言わなきゃいけないことだけを図解して書くと。そういうことが宝塚市は、ほかのページでもなっていますので、一度、参考にされたらどうかなと思って持ってきました。

次のページ、18ページ、ごみの資源化に関して興味があるかということで、非常に興味がある方が多かったです。特にお年寄りの方が書いてますんで、ごみの資源化には非常に興味があるということで、実際にどんな活動をしているかと言ったら、多くの方が買い物袋を持参して、過剰包装は断る、使い捨て商品は購入しないとか、こういう点が非常に多くて、非常に芦屋市全体は高いかなと、私も思いました。

ただ、次のページで年代別というのがありまして、30代の無回答が19%と丸つけてますけれども、非常に多かったんで、ほかと比べて。ですから、若年層の方、非常に忙しいし、子育ても大変なんですけれども、その中で、どうやって関心を持たせるかというのが課題になるかなというふうに思っています。

次、集団回収ですけれども、集団回収は、この地域は以前、審議会で藪田課長から非常に量的にもこの地域は高いという報告あったんですけれども、積極的に利用している方が75%で、かなり集団回収には協力的だなと。ただ、傾向としては、日本全国が集団回収の量が減っております。これを今後どうしていくのかとういことで大きな問題となりますので、やはり市だけじゃなくて、私たちもそこに入って、お金ももらえるので非常にいいですね。それから、資源化にもなると。市のほうも補助金が少なくて済むということで、これは本当に進めなきゃいけないということで、利用者の会

も、データを今集めてスタートしようとしているところです。

最後の22ページからは各1,300の用紙の中に書いてあるコメントを全部集めまして、このメンバーで入力したんです、1個1個全部、皆さんの意見を、こんちくしょうと思うような意見もありました。だけど、そう思う方がおられるということです。

ここにずっとまとめて、利用者の会の見解を、我々の考え方を1個ずつ書いて、確認という欄を設けているのは、これをやったかどうかを確認するために書くようにしていくので、今後、協議会とか、特にワーキンググループになると思うんですけども、そういうところで、これを1個1個、提案していこうということで、このアンケートは。住民みずからがこういうアンケートをつくるって、なかなかないと思います、傾向としては。これ、毎年やるのは大変ですので、あと10年たったら、もう一度やってどうなったのかと。10年後まで元気があるかどうか、私にはわかりませんので、また定期的にね、こういうのができたら、本当はずっと継続で見ると非常にいいんですね。市のほうも当然やられると思いますので、その辺を見ながら、こういうことを続けていって、本当に利用者の会の方はそれなりに見識を持っておられる方が多いんですけども、普通の方がどう考えられてるか非常に大切ですので、その辺の意見を聞きながら、よりよい活動をするべきだと思っています。

何か皆さんからありましたら。

○市 芦屋市の藪田です。

アンケート、本当に大変やったと思います。配付が6,713枚で、帰ってきたアンケートが1,335枚ということで、本当に、すごい量のアンケートを集計された。大変やったと思います。本当にありがとうございます。見させてもらっていたんですけど、いい情報とか、いいデータがたくさん載ってまして、いろんな事がたくさん見えてきたなというような感じです。

また、ワーキンググループとかで時間をとって詰めていったらええかな思うんですけども、ちょっと1点だけ、もしわかっていたら教えてほしいなというのがありまして、例えば4ページの一番下の点のところですね、情報提供の手段、ホームページの認知が非常に少ないという、二十数パーセントしかないということで、やっぱりホームページが全てじゃないんやなというようなところが、これで再認識できたのかなとは思いますが、そしたら、どういう手段が有効なんだろうと思ったときに、ここにも書いてもらっていますけれども、具体的には、投入口を使っただけの情報提供と

かチラシの配布に取り組む必要があるということなんです。この投入口を使っ
ての情報提供、投入口の上に掲示板、この協議会でも話し合っ
てつけたという経緯があるんですけども、あの投入口の上の
掲示板というのは、評判というんですかね、どんな声がある
んですかね。見やすいとか、そんな存在知らなかったとか。
何か、もしそういう評判、耳にされていたら教えていた
だきたいなと思ったんですけども、いかがですか。

○**利用者の会** ごみを捨てる人の横に、ちょっと離れてじ
っと観察をしていたときはあるんですけども、見ません、
残念ながら。捨てるのが精いっぱい、上まで目線で読む
人はなかなかいないので難しいなとは思いました。でき
たら下のほうが見るかなと思っています。ただね、あのポ
スターはいろんなところに張っているというか、いろんな
ところに置いてますので、ああいう活動をして、全ての
方が見なくても少しでもいいかなと思っています。ほかの
手段があるかという御質問なんですけれども、これは地
道な活動と、もう一つは、たまたまシンガポールの事例
っていうのを今、本とそれからスマートステーツという
コンセプトで、3年前からシンガポールが大々的にスマ
ート化をしようということで、やってるんですね。携帯
を持っている方が非常に多いんで、携帯を使って何か
できないかということで、後で紹介しようと思ったん
ですけども、“さんあ〜る”というシステムが開発さ
れて、スマートフォンに対しての情報提供をしていこう
ということで、これは大阪市ですけど、尼崎市も導入
しました。費用的には導入費用が5万円、毎月1万2,000
円が必要ですけども、今後はやはりそういう、スマ
ートフォンを利用する情報提供とか、そういうものを考
えて、これは芦屋ビジョンの中で、私の頭の中に出
てきているんですけども。そういうスマート化とい
うことに対応していくと、恐らく、若い人に対する
情報提供もできるのかなと思っています。これは、
ワーキンググループで具体的にするなり、大阪
市とか尼崎に行って、本当にこれ、活用して
いるんですか、どうなんですかと聞くことも
いいことだと思います。やはり、今後の
大きなテーマとして、スマート化をどう
進めるかということが、1つの大きな、
私の中の芦屋ビジョンの1つだと考
えております。

○**市** ありがとうございます。今、スマホ
ですか、スマホを有効に使っ
ていこうということなんです
けども、確かに若い人は持
っている率が高いと思うん
ですけど、このアンケート
の中にもあった、超高齢
化っていうんですかね。い
うことなんですけども、
この地区の人でどれだけ
スマートフォンをお持ち
なのかなというのは、ち
よっと

我々もつかんでないんですけれども。わからないですかね。

○利用者の会 持っててもあれでしょう。使い切れてないのは、私なんかでもそうやしね。持ってますけど、ほとんど機能が何かわけがわからないみたいな感じになって。そういう方多いん違うかな。

○利用者の会 とりあえず、スマホは買うたけど、何も使えていない。電話とメールぐらいとか。うちの嫁さんはそう。

○利用者の会 タブレットでね、いろいろなもん調べようと思うても、やっぱりパソコンのほうが使い勝手いいというのがね。

○利用者の会 だから、先ほども言われたように、高齢化。パソコン自身を持ってないとかさ、見る機会がないという方が結構いるわけね。そしたら、前回、災害等でいろいろ支障が起きたときに、メールで送るからいうことでありましたけれども、それもメールもね、しょっちゅう見てるわけじゃないので。その伝達方法というのは、やっぱりもっと考えないといけないんだというように思うし。先ほど山口さん言うたように、もう投入の上というのは、目線的にはやっぱりいかない。どちらかと言えば、もう投入する前、閉まった状態でぱっと見るとか、横のほうが目線的には行きやすいなというふうに思いますし。今までずっと、ごみが詰まった、詰まったごみを2週間ほど横に置いてて、見てもらう。何で詰まって、しばらくストップしたんかなという事で、みんながそこを見ますよね。そういう具体的な方法というのは、やっぱりアピールとしてはいいんじゃないかなと。

で、やっぱり文章化というんかな、用紙として、今、ステーションに置くごみのカレンダーというの、皆配ってますよね。うちなんかでもカレンダーは常に置いていて、家内なんか、それを見て、捨てに行ったりしているわけだけれども。やっぱりそういう書面っていうかな、ハンドブック、書面、これはやっぱり市民である以上ね、きちっと常に置いておくということをやっぴり徹底すべきやなというふうに思いますけどね。利用者の会のハンドブックもしかりですけれどもね、やっぱり書面として残して、それをきちっと保管してもらって、何かあったときにはそれを見て対応するという。それが一番だなと、今のところではそういうふうに思うんだけど。我々の世代が、我々の世代っていうか、若いもんが、もっともっと高齢化していったときには、もう100%、スマホ時代になっているということになればね、またそういう対応も必要かもしれないけれども、今後20年間いうかな、15年間いうかな、その辺のところは対応し

ようと思ったら、やっぱり書面でしかないのかなというふうに思いますけど。

○市 ありがとうございます。

○利用者の会 結論はマルチ化しなきゃいけないと。文章も必要やし、実際の現物が、投入の情報も必要だし、いろんなものが必要。ただ、今後のこと、10年先、20年先を考えると、今、若者、うち、息子と娘いますけど、ライフスタイル見ていたら、24時間ここにあるんですよ、スマホが。もう全てそれで、生活と一緒に、もうずっと、風呂場は持って行ってないと思うんですけど、ほとんど一緒なんですね、自分の生活がそれが。パソコンよりはそっちを使っています、全ての検索も全部使っています。ですから、恐らく、あと10年、20年たったら、そういうものが主流になると私は思っています。そのときに導入しようかじゃ遅いんです。今のうちから手を打って、少しずつでももうやっておくと。そういう時代が必ず来ますんで、そのときにはごみ問題に関することとか、市のいろんな情報をずっとそちらに移行できる。そういう地盤、基板づくりをそろそろしたほうがいいんじゃないですかという考え方ですね。

○市 ありがとうございます。そしたら、また皆さんの声とか、いろいろ聞かせてもらって、その情報提供の方法とか、できるだけ皆さんに見てもらえるようなものを考えていきたいと思うんで、また一緒によろしくお願ひしたいと思います。

○利用者の会 それと、現在のパイプラインをいかに15年、20年後まで持たせるかということになるとね、やはり捨てていいものと悪いものという区別をきちっと今後も徹底していくということ、言う必要があると思う。だから、投入口に捨てていいものと悪いものいうのをもっとやっぱり市側としても、きちっとわかるようにしていく必要があるんじゃないかなということ、潮見のほうでは、今度、自治会ニュースで、集団ごみの徹底。ごみステーションに置くもの、燃やさないごみとか、燃やすごみとかいう曜日の徹底、曜日、日時というのをやっぱりより徹底して行って、投入口に捨てるごみ自身を減らしていくことによって、長持ちさせていくよという方法をとっていかうかなというふうに考えておるんですけどもね。それのところも、きょう、神戸市の道路を歩いていたら、ゴミステーションのところに、看板っていうかね、あれ。環境面でいいのかどうかわかんないけどね、やはり、この日はこのごみを捨てるというような看板ね。これはそれぞれのところに置いてますけれども、芦屋市はどうなんかな、自治会に任せているかな。芦屋市としてはやってない。神戸市は神戸市っていう看板で、ゴミステーションのごみに対策っていうのをやってはるねんけどな。

その辺のところもやっぱり今後、投入口へ捨てるものをできるだけ減らすために、リサイクル、リユースとか、3Rって言われてますんやけどね、その辺のところもきちっと、ごみの量を減らしていくと。減量化につながっていくというところを今後考えていただけたらなというふうに思います。

○市 よろしいでしょうか。それでは議題4ですね、朝の定時運転の変更案についてということで、資料4、環境施設課の藪田から説明させていただきます。

○市 はい、芦屋市の藪田です。

それでは議題の4ですね。説明させていただきます。ここにもありますけれども変更案ということで、私どもから提案になるんですけれども、もし内容的にいいのであれば、とりあえずすぐに実施したいなと思うようなものでございます。

ブロワの運転方法につきましては、この協議会とかワーキンググループなんかで話し合ったり、実験してみたり、いろんなことをやって、さまざまな経費削減対策ということを実施してきております。いろいろやってきている中で、一部地区において、ちょっと問題が見えてきておりますので、取り急ぎ、バランスをとるために、とりあえず暫定的なんですけれども、運転方法の変更というのを行いたいなと思っております。

この一部地区とは、1番、対象地区のところに書いてあるんですけれども、南芦屋浜の低層地区。いわゆる戸建ての住宅が建っているところ、この地区において、ここ特有のというか、ここ固有のかな、問題が見えてきております。

2番にありますように、現状、どういう運転をしているかといいますと、定時運転についてなんですけれども、南芦屋浜の投入口の地下にございます貯留槽、ドラムですね、この容量が大きいということから、効率を考えると定時運転から外そうということで、現在、定時運転には入っておりません。

それをすることによって、ちょっと問題が出てきております、3番。昨年かな、平成30年4月からですかね、日曜日の運転っていうのを停止しておりますが、そういうことをしていることから、月曜日の朝の出勤時にパイプラインにごみを捨てることができないうようなことが出てきております。

ほかの地区については、朝の5時半から定時運転やっておりますので、一旦、朝の5時半の運転で空になっております。満杯になったら、またそこで捨てられなくなるんですけれども、一旦は全部空になっていますんで、月曜日の朝、意外と捨てられているんじゃないかなと思うんですけれども。この地区は、朝の定時運転をしていないの

で、日曜日、赤ランプついたまま、ずっと赤ランプのままということになっております。

ですので、4番、運転方法の変更をしたいと思っております。簡単なんです、この地区も月曜日の朝の定時運転に組み込もうかなと思っております。今、朝の5時半に定時運転スタートさせまして、全部の地区が終わるのは7時ごろですが、この南芦屋浜の低層地区を追加することによって、この定時運転が約40分間の運転延長になります。そうなりますと、終わる時間が7時40分ごろになってしまうので、そうすると、出勤時に間に合わないのかなということから、この運転開始時刻というのを5時半から4時半に早めようかなと思っております。

これは月曜日だけの話です。日曜日をとめているので、月曜日だけ固定しようかなと思っております。4時半に早めることによって、最終的に全部の地区が終わるのは6時40分ごろかなというふうに想定しております。

運転時間が伸びますので、5番、経費というところも考えなければいけないのです。月曜日、朝の定時運転の時間というのが、南芦屋浜の低層地区を追加することによって、40分間ふえます。となりますと、1年間の電気代というのが単純計算ですけれども、約25万円ふえるという計算になってきますが、現在、月曜日の朝、職員が出勤してきたら、もう既に南芦屋浜の戸建て地区は赤ランプがついていますので、手動で回しているんですね、赤ランプがついてます9時前後には。ということは、結局は運転時間そんなに変わらないんじゃないかなと。人が9時からするのか、自動で早朝回すのかの違いだけであって、若干はふえるかもしれませんが、そんなに大きくふえるものじゃないと想定しております。

それと、6番、その他ということですけども、これは今までもそうなんですけども、朝の定時運転というのは、職員の出勤する前、早朝になりますので、出勤する前の早朝に無人の自動運転ということをやっておりますので、運転中にトラブル等が発生した場合には、そこで運転がとまるという場合もあります。

どれぐらい、このトラブルが発生してとまっているのかということなんですけれども、トラブル実績としては、この4月、5月の2カ月の間では、4月には3回、定時運転中にとまっております。5月にも2回ほど定時運転中にトラブルが発生してとまっているということになりますので、出勤前の早朝に運転はかけているものの、これぐらいの頻度では途中でとまってしまうということが発生します。その場合、復帰作業、

トラブルでとまっているのをまた再度動かすというのは、職員が出てきてからの、9時以降ということになってしまいますので、運転再開というのは、その後になってまいります。

それと、もう一つ、ちょっと気になるのが、月曜日の早朝4時半に運転をスタートさせるということですので、今の5時半よりも早くなることから、運転時の騒音、投入口のところでは空気を吸い込んでいますので、吸い込む音っていうのがどれだけ影響出るのか、ちょっと懸念されるところでございます。こういうようなことが考えられますが、もしよければ早速、まず問題解決するために、暫定的ですけれども、運転方法を変更したいと思っております。

なお、一番最後、星印のところ、先ほどのアンケートの中でも、大分意見等あったみたいですが、日曜日の運転停止の検証、これについては、全体の問題として捉えて、さまざまなデータもありますので、その辺を見ながら、ワーキンググループでまた話し合っていきたいと思っております。きょうのところは、朝の定時運転、南芦屋浜の低層地区を追加したいという提案となっております。

以上です。もしよければ、実施したいと思えますけれども、いかがでしょうか。

○**利用者の会** どうも御苦労さまです。その他のところで電気代のことをちょっと話ししようと思ってたんですけども、月曜日だけということなんであれですけど、この辺ですね、例えば25万円増と試算されていますね。ほんで、電気代言うたら、昼間、時間帯と重負荷、夜間、その辺によって単価差が二、三割違いますね。これは夜間帯に、昼間やっているのを夜間帯に移すということは、それだけ単価差で言うたら、15%か20%か、それぐらい、価格、単価差あるわけですね。特に来月から、重負荷期間になるんですか。

○**市** 7月からですね。

○**利用者の会** 7月からですね。7月から9月は、重負荷、時間帯ということで、昼間よりたしか、あれ、3割ぐらい、単価アップになりますね。

○**市** そうですね。

○**利用者の会** それから見たら、そういうところから、早朝夜間帯に持ってくるということは、二、三割、単価差違いますもんね。特に、その辺、効果の25万円ふえる言うてますけど、年間で見たら、その辺どうなるかということです。その辺はやっぱりしっかりつかんでいただきたいと思えますね。

それと、その他のところで、トラブル実績、4月3回、5月2回発生ってなってますね。これは、一番最初にトラブルってこれ言うてもらいましたね。この中に載ってるやつなんですかね。当然、載ってるんですかね。

○市 載っています。

○利用者の会 載っていますね。例えば、何ぼなんかな、13番、6時29分。ほんで、17番、6時10分。21番、5時54分。これは5月に5時半から7時かな、の間に発生しているということなんやけど、これから見たら、やっぱり弁のトラブルでとまっとる言うのが多いわけですね。そういうことになりますね。せやから、この辺もやっぱり今後ね、ちょっと。これも定時運転中とまったら、ストップやいうことでね、ちょっとまた注記いうか、書いておいてもらって。余りにも同じところで、ここで定時運転が、朝の定時運転がストップしてしもうて、住民のほうにアンケートで困ってるんでというふうに書かれる、うちの一部になっているんやったら、この辺もちょっとチェックでもしといて、今後、対応していくいうか、取り組んで行く必要あるん違うかないう気がしますね。まあ、よろしくお願ひしたいと思います。

○利用者の会 今現在、朝の5時半から起動させているといことですがけれども、今現在ね、最終、全地域が、全地区が5時半から起動させた場合、終わるのは何時、7時。やっぱり。

○市 7時ごろ。

○利用者の会 アンケートにも出ていたけれども、朝の出勤時間に赤ランプついているよということで、5時半から起動しとるのに、何でそんなんかと思ったら、やっぱり最終7時なわけね。

○市 潮見が一番遅い。

○利用者の会 一番遅いですね。まあ、そんな早く出勤する人も少ないとは思うんだけどね。やはりその辺のタイムラグというのがね、やっぱりあるんで、順次起動していつて、最終7時ということなら、5時半から起動している、この表現だけだったら何で5時半から起動してるのに朝から赤ランプついているんやという誤解をちょっと生むと思うんで、この辺のところも表現ちょっと、きちっとやっといいたきたいなというふうに思います。

○市 書いてなかったかな。ホームページには5時半起動7時終了とは書いています。

○利用者の会 うん、書いてる、書いている、ホームページにはね。

- 市 人によっては自分ところは5時半やと思ってるかもしれない。
- 利用者の会 ただね、そのときね、今回、住民アンケートやってますね。ほんで、やっぱり各組織によっては、朝、満杯になっているということを現実に書かれているんで、せやからその辺を詳しく調べて、ほんなら今の定時運転の順番をどう入れているかというのも合わせて、住民アンケートをしててね、ちょっと順番入れかえようとか、それができたら一番ええんやけど、ちょっと時間かかるかな思っ。
- 市 何時ごろ出勤されているというのが人によってまた違いますので。
- 利用者の会 違いますな。
- 市 個々に対応するのは難しいところあると思うんです。
- 利用者の会 我々のほう、5時半から起動させているよということは言ってるんだけどね、我々の地域が何時ごろになるかっていうのは言えてないもんだからね、何でそんな早く起動してるのかな。
- 市 なかなか難しいのは、早けりゃ早いほど、今度は騒音の問題も出てきますんで、こんな寝ているときに、風切り音がついていう話もありますし。
- 利用者の会 まあまあ、わかりました。できるだけ、その辺のところ、表現、きちっとやっておいたほうがいいだろうということです。
- 利用者の会 基本的な考え方としたら、問題点が起きたら迅速に対応していくと。そこで一応やってみて、データをとって、どうなのかというのをワーキンググループで検証していくという基本的な考え方でやっていかれたらいいと思う。恐らく今後とも、いろんな、新しいことをやればやるほど、いろんなトラブルがあって、いろんな利用者からの声もあると思います。ですから、今回はとりあえず、これでやってみて、2カ月後とか、次の利用者の会でどうだったのかということレビューしていけばいいかなと思っています。
- あと、何かありましたら。
- 傍聴者 いえ、特にありませんけれども、迅速に検討していただいてありがとうございます。
- 市 ありがとうございます。そしたら、早速、この月曜日の朝からということで。きょう、設定を変更します。
- 利用者の会 来週月曜日から。
- 市 来週ですか、今度の月曜日は来週の月曜日から。早速、ちょっと入れていきたいで

す。

○市 17日から運用。

○市 ですので、また朝の風切り音がどうのとか、もし気になるようでしたら、一報いただけたら、助かるかなと思います。ちょっと気にかけていただけたら。

○利用者の会 今まで音で苦情があったんですか。

○市 扉の音だったかな。

○利用者の会 そない、余り言わないような音やけどね。

○市 風切り音の苦情は聞いてないです。たまに、朝一、バケットを閉める音がうるさいと聞いたことがあります。

○利用者の会 ああ、それは。運転上の音はそんなに。

○市 まだ聞いてないんですけども、私たちも初めてやることなんで。

○市 今まで早朝に運転したことがないので、今まで昼間に運転しとったんで、やっぱり車の音とか、いろんな音にまじっていて、そんなに目立たないと思うんです。早朝になればなるほど、まだ皆さん寝静まっていて、車の音もない、しーんとして寝ているときに、その風切り音がどれだけ耳障りというか、気になるのかな。

○利用者の会 その全然住民に、事前にそういう話をしてなくていきなりやると、何か、がたっと来そうな感じもせんことはない。

○利用者の会 5時半でも今までは、風切り音に関する苦情は、なかったということですね。

○市 はい。

○利用者の会 大丈夫やと思う。

○市 もし、何かそういう話、聞こえてきましたら、また教えていただきたい。

○利用者の会 私ら、早く起きてるからね。

○市 あれかな。ほんまは結構。

○利用者の会 朝、みんな、何かで目覚めるのは。

○市 結構早い時間帯に回る地区やと思います。またお願いします。

○市 それでは、議題5、その他、何かありますでしょうか。はい、山口さん。

○利用者の会 はい。利用者の会の山口です。

3点ほどあります。話し合うことというか、情報です。まず1番目、皆さん方のパソコンでもしChrome、Google Chromeがあれば入れていただいて、その中にちょっと設定がややこしいんですけど、Google Chrome導入したら、右上に点が3つ出てきますので、

それで詳細設定っていうやつで、ちょっとわからなかったら私のほうで御説明しますし、ホームページにも英語でその辺は書いてあります。それを設定していただくと言語が、あらゆる言語に対応できるように画面が一瞬で変わります。PDFだけは残念ながら変わらないんですけども、ほかは全部変わりますので、今回、私たちがつくった、マニュアルも全部PDFからHTMLに変更しまして、全ての言語に対応できるようになっています。それを導入いただくと、非常に言語の問題は十分それで解決できるかなと思っておりますので、もし皆さん方、興味があれば、普通は今、MicrosoftのIEというのが、普通は入っているはずですが、Windowsだったら。ただ、これも名前変わらして、Edgeというのに変わりましたけれども。それプラスGoogleもChromeというブラウザを開発してますので、ぜひとも入れていただいて、自分たちのホームページ、市のホームページも全て、あらゆる言語に対応できます。ただ、それが正しいかどうかは、私も英語以外はわかりませんので。例えばアラビア語など何て書いてあるかがわからないので、ぜひともGoogle Chromeというのを使っていただくといいかと思えます。これが1つ目。

2番目、ごみをどういうふう処理をするか。パイプライン中心ですけども、ごみ検索システムをつくりました。神戸の検索システムがありまして、それをもとに我々もできるんじゃないかということで、キーワードを入れる。それも漢字でもいいですし、平仮名でもいいです。キーワードを入れる。例えば、時計と書いていたら、漢字でも平仮名でもいいですけども、どういうふうにしていったらいいのかというのが下のほうの画面に出るといようなシステムをつくりました。

ただし、これはまだ市のほうも中身をチェックしていただいている段階なんで、公にできない。しかもGoogleが毎晩、世界中のそういうページを全部チェックして、Googleの検索に入れていますので、まだ未発表ということで、今、パスワードをかけて、Googleが入れないようにしています。それが検索で出てくると、市は知らんのに、勝手にそんなんするのっていう話になったら大変ですので、パスワードとユーザーIDを入れるようになっています。そしたらGoogleも入れませんので。そんなシステムを今つくって、実はあるサーバーに上げています。ですんで、皆さん方でぜひとも、その検索をどんなもんか見てみたいということであれば、私のほうにメールいただければ、そのホームページのアドレスとユーザーIDとパスワードをお知らせしますので、ぜひとも、ああ、こんなもんなんやなということで、中身は550ぐらいのごみの

種類があって、それがどんなふうに捨てたらいいのかというのが出てきます。ただ1つ、ミスしていたのは、パイプラインに捨てていいものは「○」、捨てていかんものは「×」と。こちらの右側にあったんですけど、英語に直すと、○×ができないんで、イエスとかノーとか、ちょっとそこだけを変更して、そうすると、英語のほうでもそういう対応できるかなと思っています。そこは変えようとは思っています。ぜひとも私にメールいただければ、それが見られます。見れましたよね。

○市 はい。

○利用者の会 はい。見れましたのでできると思います。

3番目、今、ファクトブックをつくっております。50ページぐらいあります。かなりでかいやつです。1部と2部と分かれまして、1部はデータが載っております。パイプライン及びごみに関する芦屋市のデータがそこに載っております、全てお金の問題から入っております。第2部は、それに伴って、私たちはどんな組織でどう対応しているのか、この協議会がいつ、どんなテーマで話されたのか、利用者の会がいつどんなテーマで、どんなところをポイントにやっていったのかということを書いたものです。それさえ見れば、この活動を含めて、パイプラインがどんな状態で、どんな対策をとって、どうなのかという状況がわかるようにしたいと思っています。

ことは1年目なんで、今後変わるかもしれませんが、たたき台としては、できるだけ情報をその中に入れて、皆さん方が、芦屋市民含めて、誰でもがパイプラインの状況がわかるというものを目指してつくっていますんで、できましたら、8月の次の利用者のこの協議会には、こういうものでどうでしょうかという形にしたいと思って今つくっております。

以上、3点です。

○市 参考までになんですけれども、今、山口さんから検索システムをつくっていただいているというところで、私もちょっと中身を見させてもらって、非常にパイプラインに特化した部分も入っています。こういうものパイプラインに入れていいとか。例えば、こういうのに気をつけて入れましょうとか。これはパイプラインに入れちゃだめよ、集団回収に回しましょうとかいう形で、非常に丁寧にされているシステムになっています。

それと、芦屋のクラーク高校、芦屋キャンパスがあるんですけども、昨年度、このクラーク高校の生徒さんたちが、「5374 (ゴミナシ)」アプリというごみの今言われた

ような、曜日、きょうは何のごみ捨てる日やとか。こういうごみはどうやって捨てたらいいんやろうとかいうのを、学生さんたちが、授業で取り組んで、「5374 (ゴミナシ)」アプリっていうのをリリースされています。クラーク高校の芦屋キャンパスのホームページ、ちょっと見ていただいたら、そういうようなことが書いています。

これ、学生さんたちが出すに当たって、我々も少し協力させてもらって、学生さんたちがつくっているというものになっています。もしよかったら、参考に見てもらえたらなと思います。

ただ、まだ、このアプリ、アンドロイド版しかないということで、私もそうなんですけど、iPhoneの方とかはちょっとまだ、対応できてないというようなことだそうです。今後は、iPhoneについても取り組んで行くというようなことは聞いてます。ちょっと参考までに御紹介させていただきました。

○利用者の会 御苦労さまです。春木です。

さっきの定時運転の件で、今度、日曜日の運転停止の検証についてはワーキングで話ししていきますということで言っていたんであれなんですけど、以前、パイプラインの電力使用量とCO₂、地球温暖化ですね、これの3年分、昨年まで3年分の月ごとのデータをいただいたんですが、その中で平成29年度と30年度と評価したら、電気の消費量は、あれ、たしか1万6,000キロワットほど減っているんですけど、逆に費用は200万円近くふえておるとい、そういう傾向になっていますわね。

ここで、普通考えられるのは、さっきも夜間、昼間、重負荷ですね、単価差が大きく違うというて言うてましたけど、それからすると、やっぱり夜間帯での電力の比率が平成30年度はふえたと、それだけ単価が高い時間帯へシフトしたということが考えられますね。

それからすると1つは、日曜日にとめた。これまで安い夜間の時間帯で送風機を運転していた部分も、それを平日に持っていったと。せやから、夜間の比率が減ったんやということが1つですね。それと、豪雨被害、7月から5月の3カ月、それがちょうど重負荷。あれ13時から16時やったかな、時間としては、重負荷時間帯。

○市 重負荷時間は8時から。

○利用者の会 普通は13時から16時のそれがピーク時。あれになるんやけど。せやから、そういうこととめたということは、定時運転で、夜間運転して、昼間運転して、そういう運転しとったやつが全く、芦屋浜のほうは終わって、それ全て、昼間の運転、

なおかつそういう非常に通常運転と比べたら3割ほど単価差が大きいところで、無駄な、無駄ないうたらあれやけど、送風機を運転したということが考えられるわけですね。

今回、林さんが、もう100%やったから、今年は大丈夫やということを保証してもらったんで、ことしは行けるかな思うてますけど。せやから、その辺をちょっと今度ワーキングで日曜日にやるということなんで、その辺もやれるような、もしデータなり、それで分析してもらってできるのであればやっていただきたいなと思います。ほんで、重負荷時間帯は3割ほど、通常より比べたら、たしか高いと思うんですね。ということは、運転の仕方をちょっと工夫して、例えば13時からとしたら、その直前はもう3カ所、赤ランプでも先にやってまうんやとか、その辺も考えたらどうかなと思います。今度、ワーキングでということなんで、その辺もちょっと見ておいてもらえますか。

ほんで、それと送風機1台については、従来から浅田さんなんかも言われてますけど、これはやっぱり今後、今の契約が1年9カ月か。この間、まだ延長してもうたということなんで、今はええにしても、今後、西宮との広域か、あるいは15年、30年いうことを考えたら、やっぱり1台運転は必要だと思うんですね。

何か聞いたら、東日本大震災のとき、関電のほうも節電や言うて、あれ、たしか夏場と冬場やったか、15%とか節電してくれというみたいなことであって、ここも送風機1台運転したいいうことを聞いてますんで、できたら、そのころの運転方法とかその辺、過去のやつ引っ張り出して、できるんやったら、ちょっと今後のために、そのときの運転方法とか状況、どうやったんかいうので、ちょっと調べてもうといて、何かもし今後に参加になるようなことがあるのであれば、ちょっと、大変やと思うんやけど、お願いしたいなと思ってます。その辺、ちょっとよろしくお願いしたいと思います。

○市 先ほど春木さんおっしゃられました電気代のことについてなんですけれども、確かに200万円ほど電力量が下がっているけれども、ふえているような状況は確かに現実としてあります。それは春木さん、おっしゃったみたいに、時間帯によるものもありますし、あと燃料調整費ですね、皆さん、車のガソリン入れたらわかるように、最近、1年間、2年前に比べてかなり上がっています。燃料調整費によって、かなりの負荷がかかっている。あと、再エネ賦課金と言いまして、太陽光とかの買い取りをしているものもありまして、それで再エネ賦課金というものを課せられています。その金額がかなり上がっているというような原因がほとんどになっております。

あと、プロアの1台運転につきましては。

○利用者の会 その今言うたやつね、例えば、平成29年度、豪雨被害のなかった平成29年度7月から9月の日を見てほしいんやけど、20万円ぐらいふえてますわね。他の月と比べて。

○市 はい。

○利用者の会 そしたらやっぱり、その辺の単価差の影響が多いん違うんかなと。その辺、今ここで言うとしても時間たつんで、その辺、ちょっとワーキングまでにちょっと見ておいてほしいなという気がしています。お願いします。

○市 はい。それで1台運転なんですけれども、前、ワーキンググループで説明させてもらったみたいに、どっちか言うと、ちょっと金額がふえるような方向になります。それに関しましては、また今度のワーキンググループで。前も一度、出したんですけれども、もう一度、提出させてもらいたいと思います。

○利用者の会 その平成23年3月やった、東日本大震災。せやから、3月、その年から見たら夏場、特に夏場、節電要請とか、そういうのが来てやったと思うんやけどね、夏場とかね。せやから、そのとき1台運転したということなんで、もし、そういう何か残っていたらね、ちょっとお願いしたいなということです。

○市 そのとき、確かに1台運転したんですけれども、節電というか。というのは、ピークカットという要請がございまして、2台かけるとどうしてもピークが重なってしまうので、ピーク抑えるために1台運転をしました。

○利用者の会 ピークになるからね。1台にするのね。抑えるために1台運転にした。

○市 そのかわり運転時間としては倍になりましたので、時間倍になるよというだけで事済めばいいんですけど、そこで倍の時間を使うということは、言うたら、勤務時間をはみ出してしまうと、その分、残業が出てきたりとか、はたまた、それを前に持って行った場合、昼間の点検作業ができなくなってしまうとか、そういうような弊害もありますので。

○利用者の会 その辺を調べておいてほしいなと。というのは、今でも5時間でしょう。

○市 いや、それをまた今度ゆっくりやりましょうか、もう一回ね。

○市 多分ワーキングでやったと思いますけど、1台運転は、余りメリットがないようなことは、以前、皆さんいらっしゃるときに説明させてもらいました。

○利用者の会 いやいや、それは今の契約でやって1台運転では効果がありませんよと。

ともかく基本料金として五、六百万円ぐらいでしょう。

○市 もちろん関電に戻した値段が3,000万円上がった状態では、メリットがあるかもしれないです。ただ、そのかわり、それに関しまして、先ほど藪田が説明したみたいに、人件費が上がったりとか利便性も落ちる。それに関して、今のエネサーブと比べたら、全然メリットはないというような状況です。

○利用者の会 せやから、その辺をちょっと。人件費が。

○市 それが前回のワーキンググループAで話をさせてもらって、御理解いただけたかなと思っていただんですけども。

○利用者の会 いや、まだ理解してないけど。せやから、そのときの東日本大震災のときにやった。やった。

○市 契約電力の実際の単価、それと上がる幅というので、実際に、例を示させてもらって説明させていただきました。もし必要であれば、もう一回、ワーキンググループで説明しますので。

○利用者の会 違う違う。それはもう十分理解してるんやって。今のエネサーブでやったら、年間基本料金としては五、六百万円やから、半分になったら、半分としたら、二百何十万円下がってると。下げたら、単価がまた上がるし、その辺もあって、今やったら、もう効果がないというのはもう重々わかってるんや。せやから、まだ1年9カ月ほど延長しますということやから、この間はまあええなと思っているんやけど、この先やっぱり、またその辺の基本料金ということね、あの当時かて、基本料金で言うたら、何ぼやった、1,000万円。

○市 1,819円ですね、キロワット当たり。

○利用者の会 1,800円ぐらいしてたやん。今は安いからあれや、ええねんや、この1年9カ月は。せやけど、その先のことを考えたら、やっぱり検討しておく、事前に検討しておく必要があると思うてるんやわ。その辺ちょっとね、今度ワーキングのときに、またやりますか。

○市 そうですね。ただ、電力入札というのは基本的にはまず契約電力というのがあって、予想使用電力量というのがあって、あと、力率、そのぐらいの力率で運用するんやってというのがあって初めて電力入札が成立するというような状況になっています。その中で、契約電力を最初から下げるということであれば、やっぱり電力会社も営利企業になりますんで、電力量単価を上げるという形になります。だから入札の時点で下げ

るということは、電力量単価が上がるということを受け入れた状態で入札をするという形になります。だから、今の例えばエネサーブさんの状況よりは多分悪くなるような状況。で、かつ運転する時間が長い、イコール、その間は投入できない、利便性が落ちる。で、職員の人件費が、委託先の人件費が上がるというような弊害が出てきます、その辺ですね。あと、原油価格とか、その辺のことは、ちょっとまだなかなか見えないですけども。だから、そこは確かに検討する余地はあるのかもしれないですけども、ちょっとメリットとしては余り考えられない。

○利用者の会 いやいや、私から見たらね、4,000万円電気代かかっている、半分の基本料金が2,000万円やと。何も使っていないんやけど、4,000万円のうち2,000万円払わないかんというのが一番最初やで、これ、関電。それ見たら、私から見たら、非常に疑問なんやわ。何で4,000万円のうち2,000万円も基本料金として払わないかんねや。せやから、今後、同じようなことが起こらないように、あらかじめね、その辺を備えておくためにやっときますかということなんや。ほな、また今言うたようにやって、出して、あれやって、関電みたいに、ほんなら基本料金1,800円で単価がこんなんや言うて、そういうことが出てきて、1社しか来えへんと。そないなったら、もうそこで契約して、それでどうしますかということなんや。ほんで、そこで1,000キロに、送風機1台にその契約の中でしたら、また同じことやで。単価差が上がるから、どうしようかってこうなるからね。やっぱり同じことを私らから見たら、電気代の4,000万円のうちの契約電力だけで2,000万円も金払うというのがね、私らからしたらどうも認められへん。

○市 電気代は基本的にそういう体系になってます。

○利用者の会 いや、体系。

○市 基本料金と。

○利用者の会 いいですか。どうもちょっと尾川さんと春木さんで意見が違うみたいなんですけどね、単純に浅田さんも私も思っているのは、東北のときの震災のときの7月、8月ごろに1台運転しているわけですね。そのときの1台運転でトータルのキロワット数という、使用電力ですね、使用電力は、藪田さん、そのときの資料があるんでしょうかね。ある。すぐ出るもんですか。それと、その前後関係の前後のときの2台運転したときの電気料。

というのは、何が言いたいかと言うと、1台運転したときのほうが電気が理屈からし

たら少ないはずなんです。何でか言うたら、起動電力のところ、無駄な電力がずっと1台で運転していたら少ないはずなんで、ただ、それがどこまで。我々、頭の中ではそうなるはずやと、こういう。

せやけど、実際の数字になったら、どんな数字になっているのかというのが全然わかりません。いうことやと思いますし、春木さんのおっしゃっている、基本料が使用量と大体一緒ぐらいやと。それは非常に特異性があるのと、それから、工場なんかの場合やったら、できるだけ電力を同じ電力を決まった電力をずっと使い続けようというのがあるんですけども、このごみの場合は、ある瞬間だけというか、1日に使う時間が何ぼやったですかね、1台当たり3時間やったかな、運転時間が。

○市 2台で5時間。

○利用者の会 2台で5時間でしょう。だから2台で5時間しかないわけだから、考えたら、24時間あって、24時間を5時間でやってしまってるわけですから、すごくその意味では基本料が高くなるといころへ行ってしまおうと。だから、どういうふうにするかというのがあるけれども、電気の契約とかいうのはあるけれども、基本的にそのデータとして、我々としては1台運転と2台運転、どんだけ差ができるのというのを持っていけば、今度その電気の公表するときやら、いろんな計算するとき、大体これぐらいになるなというのがわかるわけですから。その意味では、1台運転のときの電気容量というのがもしわかるようだったら、藪田さん、次グループで話しするとき、あれば、データとしてわかりやすいんですけどね。どれぐらい差があるのと、1台運転と2台運転と。

○市 日報を見れば、データはあるんですけど、それで果たして、1台運転したとき、2台運転したときの差が見えるかというのがあって、2台運転をしてるのは朝の定時運転なんですね。昼間の運転は1台でやってる。だから、その非常に。

○利用者の会 ああ、そうか。両方足した分。

○市 はい。足した分しかないんで、その差がどれだけ明確に出るかと言われたら、多分、起動電流も定時運転の1回だけの話なんで、その定時運転が何十回も何百回も1日にやってるんだったら、起動電流、すごいたまってくるんですけど、朝の1回だけの話で、そこまで差が。「データを見て見えるか」というのがちょっと見えにくいかもわからないですけど、またゆっくりやりましょうか。データ見ながら。

○利用者の会 また機会あるんで、またゆっくり。ともかくね、私、先を思ったら、西宮

市との広域化のほう今どうなっているかわからんけど、平成で言うたら、40年かそれぐらいのところでは決まったらもうやるみたいな決まったらなるんやないですか。そして当然、焼却炉は向こうへ行ってしまうわね。ほんなら、こっちのほう、電力使用量言うたら、ばんと減ってきて、パイプラインにかかる電力の比率言うたら、今どころやなしに、もっとふえてきますわね、中で言うたら。そのときに、650キロワットの送風機を1台にするか2台にするか。650キロで実負荷は500キロワットぐらいかもしれないけど、500掛ける2の1,000キロワットが契約電力にするか、500にするかというので変わってきますからね、今後、今度やりましょう。

○市 そうですね。前回もさっきも言うた、5月のワーキンググループのときにね、野村さんからいろいろ説明してもらって、やっぱりやったときの、例えば運転時間が延びるので不便さがどうなるんやろうとかいうの、ちょっと気にしておられたので、その辺も含めて、また皆さんで話し合っ、検討していったらいいかなと思います。

○市 では、よろしいですか。それでは6番、今後の協議会等のスケジュールですが、次回の協議会として8月24日土曜日は、皆さん御都合よろしいでしょうか。

○市 よろしいですか。それでは第25回ゴミパイプライン協議会、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。